

## ブロッコリー部会 育苗状態を確認



JA筑紫ブロッコリー部会は、8月26日、苗作りの均一化を図ろうと、部会員の圃場を巡回し、育苗状態を確認しました。当日は部会員やJA農業振興課職員ら13名が参加し、互いの栽培方法など熱心に情報交換を行いました。

部会では、7月に播種を始め、8月から定植。出荷期間は秋冬作型で10～3月ごろまで続きます。

部会員は、圃場や生育状況を連絡し合い、出荷調整するなど、入念な栽培工程を踏み、高品質で統一した出荷に一丸となって取り組んでいます。

JA農業振興課の担当職員は「高品質なブロッコリーを出荷するために、今後も十分に注意しながら栽培管理を行ってまいります」と話しました。

## 詐欺防ぎ感謝状・JA 筑紫光支店



JA筑紫光支店は8月30日、二セ電話詐欺の被害を未然に防いだとして、春日警察署で南島彰夫署長から感謝状を受け取りました。

光支店職員の小泉博之係長と一井菜月さんは12日、ATMコーナーで機械の操作に手間取っている男性客の様子を不審に思い、声かけを行いました。男性客の「未納の携帯電話料金を振り込むため、電話会社の人と話している」などの話から、二セ電話詐欺を疑い、警察へ通報。被害の未然防止に大きく貢献しました。

一井さんは「お客様の大切な財産を守ることができて良かったです。今後も注意を払ってまいります」と話しました。

## 「みんなで撲滅 飲酒運転」駅前呼びかけ



JA筑紫は8月31日、JR二日市駅前で飲酒運転のない社会の実現へ向け、「飲酒運転撲滅キャンペーン」を行いました。

これは8月25日から31日までの「飲酒運転撲滅週間」に行われたキャンペーンの一環で、「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない、そして見逃さない」をスローガンに実施。

筑紫野警察署と春日警察署が主催し、JA筑紫や筑紫交通安全協会など関係者約20名が参加しました。

参加者らはJAが提供した「夢つくし『飲酒運転ゼロ』の願い米(こめ)」2合入り100袋とチラシを通行人や駅利用者に配布し、安全運転と交通ルールの順守を訴えました。

筑紫野警察署交通課の丸橋弘昌課長は、「この取り組みを通して撲滅の意識の高揚を図り、飲酒運転を許さない社会環境づくりを目指したいです」と話しました。